

## 令和5年度第2回江東エコライフ協議会会議録

1 日 時 令和5年11月1日(水) 午後 2時30分 開会  
午後 3時23分 閉会

2 場 所 江東区文化センター 5階 第6・7会議室

3 出席者 < >は欠席

- (1) 会 長 長谷川 猛 (環境審議会副会長)  
副 会 長 市 川 英 治 (東京商工会議所江東支部副会長)  
委 員 < 蛭 名 明 (区民委員・江東区立小学校PTA連合会副会長) >  
老 沼 秀 子 (区民委員・江東区消費者団体連絡協議会代表)  
< 大 石 美奈子 (区民公募委員) >  
星 野 雅 央 (一般社団法人東京都江東産業連盟課長)  
石 井 正 彦 (江東区商店街連合会副会長)  
< 星 田 芳 郎 (一般社団法人東京都トラック協会深川支部副支部長) >  
< 浅 野 利 幸 (一般社団法人東京都トラック協会城東支部長) >  
深 萱 智 子 (東京電力パワーグリッド株式会社江東支社地域担当次長)  
大野木 幸 夫 (東京ガス株式会社東京東支店課長)  
< 市 野 尋 斗 (学校法人武蔵野大学経営企画部法人企画課) >  
春 山 嘉 男 (株式会社フジクラコーポレートコミュニケーション部部长)  
< 堀 慎太郎 (三井住友カード株式会社経営企画部部长兼サステナビリティ推進室長  
SMB Cファイナンスサービス株式会社経営企画部部长) >  
戸 辺 清 文 (東京都地球温暖化防止活動推進センター副センター長)  
山 下 忠 洋 (江東区文化コミュニティ財団江東区文化センター次長) >
- (2) 幹 事  
池 田 良 計 (環境清掃部長)  
西 谷 淳 (環境清掃部温暖化対策課長)  
佐 藤 生 男 (環境清掃部環境保全課長)  
瀧 澤 慎 (環境清掃部清掃リサイクル課長)  
瀧 川 久 輝 (環境清掃部清掃事務所長)  
上 原 新 次 (地域振興部経済課長)

4 議 題

- (1) 委員の変更について  
(2) 令和5年度夏休み小学生環境学習会の実施報告

- (3) 令和5年度カーボンマイナスこどもアクションの実施報告
- (4) 令和5年度江東区環境検定について
- (5) 事業者等のゼロカーボンに向けた取り組みについて
  - ・東京電力パワーグリッド（株）江東支社
  - ・三井住友カード（株） ・ SMBCファイナンスサービス（株）

## 5 提出資料等

### 机上配付資料

- 資料1 江東エコライフ協議会の委員の変更について
- 資料2 令和5年度夏休み小学生環境学習会の実施報告
- 資料3 令和5年度カーボンマイナスこどもアクションの実施報告
- 資料4 令和5年度江東区環境検定について
- 参考1 江東エコライフ協議会設置要綱
- 参考2 江東エコライフ協議会運営に関する取り決め

---

**1 池田部長** ただいまから、令和5年度の第2回江東エコライフ協議会を開催させていただきます。

私は、環境清掃部長、池田でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しいところ御出席賜りまして、誠にありがとうございます。

また、先日の10月24日に開催したカーボンマイナスこどもアクション、表彰式及び講演会に御出席いただいた委員様におかれましては、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

では、初めに、温暖化対策課長、西谷から、委員の出欠について御報告いたします。

**2 西谷課長** 出欠状況についてでございます。本日は、蛭名委員、大石委員、星田委員、浅野委員、市野委員、堀委員から御欠席の御連絡をいただいております。このため、出席は、現在10名となっております。

なお、本日の傍聴者につきましてはおりませんでしたので、御報告いたします。

以上でございます。

**3 池田部長** それでは、改めて、これより議事に入りたいと存じます。

それでは、長谷川会長、よろしくお願ひいたします。

**4 長谷川会長** 長谷川です。よろしくお願ひいたします。

それでは、本日の進行、お手元に配付してございます次第に沿って行いたいと存じます。資料に不足等がございましたらおっしゃってください。

よろしいですか。

初めに、議題の(1)委員の変更についてでございます。変更があった委員におかれましては、委嘱状を席上に配付させていただきましたので、よろしくお願ひいたします。新たに就任された委員を御紹介させていただきます。名前を私のほうで言いましたら、その場にてお立ちいただき、御所属とお名前をお伝えいただければと思います。

それでは、深萱智子委員、お願ひいたします。

**5 深萱委員** 東京電力パワーグリッド株式会社江東支社の深萱と申します。弊社、7月1日付の人事異動に伴いまして、前任の石川に代わり、こちらの委員を務めさせていただきます。地域企業として少しでも貢献できるよう、また、個人としても理解し、考え、行動することが大切だと思っておりますので、勉強しながら、区と区民の皆様と一緒に取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

**6 長谷川会長** ありがとうございました。

続きまして、議題の(2)令和5年度夏休み小学生環境学習会の実施報告について、事務局から説明願ひます。

どうぞ。

**7 西谷課長** それでは、資料2を御覧願ひます。まず、1の開催概要でございます。日

時は、夏休み期間中の8月8日火曜日、午前8時20分から12時で実施をいたしました。参加者数は、申込みが32組64人からいただきまして、抽選で15組30人としてございましたが、前日及び当日にキャンセルがあった結果、12組24人での参加となっております。学習テーマについては、「木とのふれあいを通して、環境について学ぶ」としてございます。場所は、東京木材市場及びフジクラ木場千年の森、移動は大型バスで行ったところでございます。

次に、2の当日の様子を御覧ください。東京木材市場では、「木が生まれて みんなのもとへ」というタイトルのDVD鑑賞の後、①の写真のように、木の踏み台を製作し、②の写真のように、市場見学も行ったところでございます。次に、フジクラ木場千年の森では、2段目の①②の写真のように、ビオガーデンの説明を伺った後、見学をいたしました。

次に、3の参加者の声でございますが、学習会参加者のアンケートから抜粋して御紹介をさせていただきます。まず、「木の踏み台は、桐のいい香りがする実用的なもので、工作体験もでき、さらに、普段は見ることができない市場をのぞかせてもらえ、大人も子どもも大満足な内容でした」や、「ビオガーデンは近所ですが、しっかり見たのは初めてで、勉強になりました」、「ビオガーデンという施設があることを初めて知った」との声もいただき、今回も好評でございました。今後とも委員の皆様の御協力を賜りながら環境学習会を実施していきたいと思っております。何とぞよろしくお願いを申し上げます。

説明は以上でございます。

**8 長谷川会長** ただいま、説明がありました。東京木材市場様、株式会社フジクラ様、見学の機会を与えていただきまして、どうもありがとうございました。

それでは、本件につきまして、御意見、御質問がありましたらお願いいたします。

どうぞ。

**9 老沼委員** フジクラ木場千年の森について質問なんですけれども、フジクラさん、今日、出席していらっしゃいますか。

**10 春山委員** はい。

**11 老沼委員** 個人でも、会社の受付へ行けば、ここを見学できますか。

**12 春山委員** 御質問ありがとうございます。

フジクラ木場千年の森は、基本的に開放しております。4月から9月は7時から18時の間、10月から3月は7時から17時の間、もちろん無料で、受付を通らずに、自由に地元の皆様に散策をしていただけます。

**13 老沼委員** 自由にですね。

**14 春山委員** はい。

**15 老沼委員** 土日も公開していますか。

**16 春山委員** 年末年始、管理作業期間を除き、土日も公開しています。公開時間以外は閉門しています。

**17 老沼委員** 門があるのですね。

**18 春山委員** はい。

**19 老沼委員** 分かりました。ありがとうございました。

**20 春山委員** ぜひ皆様も御利用いただければと思います。よろしく願いいたします。ありがとうございます。

**21 老沼委員** 伺いたいという人がいますので。どうもありがとうございました。

**22 長谷川会長** よろしいですか。

**23 老沼委員** はい。

**24 長谷川会長** ほかに御意見、御質問はございますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、議題（2）については了承といたします。

続きまして、議題の（3）令和5年度カーボンマイナスこどもアクションの実施報告について、事務局から説明願います。

どうぞ。

**25 西谷課長** それでは、資料3を御覧願います。1、取組状況ですが、6月の環境月間に合わせ、全区立小学校及び義務教育学校の五、六年生がカーボンマイナスこどもアクションに参加をいただき、家庭での二酸化炭素の削減に1か月間取り組んでいただきました。今年度は、全46校が参加をし、対象者8,275人中7,836人の生徒たちが取り組み、その結果、1か月間で総量191トン、1人当たり平均24.4キログラムの二酸化炭素を削減となっております。これは、約2万2千本分の杉の木を植えるのと同じ効果でございました。また、希望のあった4校では、東京ガス株式会社様との協働により、地球温暖化と再生可能エネルギーをテーマにした出前事業を実施してございます。

次に、2の経過でございますが、まず、4月に全校に参加依頼から始まり、6月に各児童が毎日の取り組みを記録シートへ入力し、7月に回収、結果を集計し、9月に表彰校を決定し、10月に、皆様に御参加いただきました、江東区文化センターで表彰式及び講演会を実施したところでございます。また、11月には表彰式等の写真などの展示を江東区文化センター2階展示ロビーで実施を予定してございます。

次に、3の表彰校では、最優秀賞が、昨年度に引き続き、3年連続で毛利小学校となっております。また、優秀賞が東川小学校、越中島小学校、水神小学校及び浅間堅川小学校の4校、入賞が第六砂町小学校、有明小学校及び小名木川小学校の3校となっております。

次に、資料の2ページをお願いいたします。4の表彰式及び講演会は、10月24日火曜日、13時15分から15時15分に、江東区文化センターホールで実施をいたしました。最優秀賞の毛利小学校からは五、六年生の児童が、優秀賞の東川小学校は6年生の児童が、越中島小学校は代表の児童、水神小学校と浅間堅川小学校は5年生の児童、また、各校引率の先生も合わせ380名を超える御参加をいただいたところでございます。表彰式では、最優秀賞及び優秀賞受賞校の各校代表児童に木製の表彰状及び盾を贈呈し、講演

会では、お笑い芸人でごみ清掃員としても活動しているマシンガンズの滝沢秀一さんを講師として招き、「ゴミから学ぶ地球温暖化問題～清掃員から見た景色～」をテーマに行いました。また、この模様は、全区立小学校及び義務教育学校限定で、ユーチューブで同時配信をし、出席した学校以外でも同時時刻で視聴可能としてございます。中段にある写真は、表彰式における最優秀賞と優秀賞受賞校の代表児童の集合写真でございます。講演会では400人近い参加者が熱心に滝沢さんの話を伺い、最後の質疑応答の時間では多くの児童が手を挙げ、時間の都合上、全員の質問を聞けないほどの盛況の中で行われたところでございます。

次に、5、参加賞は、参加児童全員に木製のメッセージボードを来年の1月に配付をいたします。このメッセージボードはホワイトボードのようなもので、マーカーでメッセージなどを書いて、簡単に消すこともできるものでございます。

今後とも本事業を通じまして、多くの小学生、そして子供から御家庭に伝えていただき、各家庭における環境に関する知識と行動の定着を図ってまいります。

御説明は以上でございます。

**26 長谷川会長** ただいま事務局から説明がありましたけれども、これについて御意見、御質問はございますでしょうか。

よろしいですか。

私のほうから一言申しますけれども、マシンガンズ滝沢さんが、講演されたんですが、いつもと違って小学生たちがいっぱい質問をしまして、非常に活発な講演会になりました。なかなか、最初はこんなイメージで思っていなかったんですけども、子供たちも結構ああいう話が好きみたいですね。随分皆さん、喜んでいました。

ほかにございますでしょうか。

なければ、御了解いただきまして、次の議題に移りたいと思いますけれども、よろしいですか。

どうぞ。

**27 老沼委員** 私も表彰式に出席させていただいて、3年ぐらい前には行って、それこそお手伝いに意気込んで行ったんですけども、一参加者として伺わせていただいて、それで今、会長さんがおっしゃったように、物凄いです、講演の後の質問の数が。それにしても、ワイヤレスマイクも用意していなかったということに、ちょっとびっくりしちゃったんですけども、講演会で質問を受けるのであれば、ワイヤレスマイクを会場に用意してください。質問の内容が聞けないということがございますので。ちょっと参考に。

**28 西谷課長** ありがとうございます。

多くの児童からたくさん質問をいただいて、ちょっとすぐにマイク持って行けなかったんですが、マイクはお持ちして、各児童、マイクでしゃべってはいいただいたんですが、ちょっと聞こえづらいところもあったかと思います。

**29 老沼委員** 最初の頃はね、ちょっと。

**30 西谷課長** すみませんでした。ただ、本当にたくさんの児童が質問をしました。

**31 老沼委員** びっくりしましたね。

**32 西谷課長** はい。

**33 老沼委員** 小学生の関心の高さというか取り組みについて、物凄く感心しました。ありがとうございます。

**34 長谷川会長** ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

では、特にないようでしたら、本件は了解いただきましたということにしまして、続きまして、議題の（４）令和５年度江東区環境検定について、事務局より説明願います。

どうぞ。

**35 西谷課長** それでは、資料４を御覧願います。今年で２年目となります環境検定の結果でございます。まず、１、事業内容ですが、対象者は区内在住・在勤・在学者で、受検日程は９月の１か月間、受検方式は、パソコンやスマートフォン等対応のオンラインにより、検定問題は二肢択一で６０問でございます。６割以上の得点者には認定証を、９割以上の高得点者には表彰状をオンライン発行し、結果発表は１０月１６日から今月１１月１５日水曜日までとなっております。

次に、２の実施結果ですが、令和５年度の受検者数は、一般が２,９１２人、中学生が２,４１４人で、合計５,３２６人の方に受検をいただきまして、前年度と比較しますと、２,２２７人増加いただいております。なお、今年度も区立中学校２年生及び義務教育学校８年生につきましては、授業内で受検をしていただいております。

次に、３、その他ですが、今年度は環境に関する基礎的な知識を事前に学習いただくためのデジタルテキストを作成いたしまして、７月１１日から公式サイトで公開いたしました。今後もカーボンマイナスこどもアクション同様に、本事業を通じまして、中学生をはじめ多くの区民の方に環境に関する知識と行動の定着を図ってまいります。

説明は以上でございます。

**36 長谷川会長** ただいまの説明について御意見、御質問はございますでしょうか。

どうぞ。

**37 春山委員** 春山でございます。

確認といいますか、平均点の見方なんですけれども、６０問ということで４７．３点という、これは１００点満点中４７．３でしょうか。

**38 西谷課長** ありがとうございます。

こちらの平均点は６０点満点中でございます。６０問、二肢択一でございますので、６０問中でもこういった高い平均点となっていると思われます。

**39 春山委員** ありがとうございます。

**40 長谷川会長** ほかにございますでしょうか。

私のほうから一言ですけれども、多分、去年は生徒さんが多かったと思うんですが、今

年は一般区民の方が多くて、随分定着したなという感じがしているんですけども、これは何かあるのでしょうか、区民の方が多くなってきたというのは。

**41 西谷課長** こちらにつきましては、まず、昨年度は、約検定の1か月前に申込みをいただいて、1か月後に受検という形であったので、まず、申込みがされたけれども、受検をされなかった方が多くございました。また、職員のほうも、イベントであったり、こういった会議体において、区内の事業者の方にも、率先して環境検定を受検いただきますように宣伝をして回り、今年度は増えたのもございます。また、今回につきましては、江東区の職員につきましても、皆さん、受けてくださいということで、全職員に受けていただくように、区の職員として環境について関心を持ってほしいということで、職員についても積極的に受けていただくように、木村区長を筆頭にアピールをしたところでございます。また、2年目ということで定着もあったかと思えます。

**42 長谷川会長** 分かりました。

去年度においては、やはり子供向けだなと思ったんですけども、今年状況を見てみますと、区民向けのものに成長したような感じがしたので、ちょっと質問しただけです。

ほかに何かございますでしょうか。

**43 石井委員** いいですか。

**44 長谷川会長** はい、どうぞ。

**45 石井委員** 商店街連合会の石井です。

具体的にどういう問題なんですか。それが分からないと。

**46 西谷課長** ありがとうございます。

公開しているテキストを見ていただくと、大体載っていたことはあるんですが、例えば江東区と言えばやっぱりごみ戦争がありますので、昭和の中期にあった、東京都知事が発言した、これは何というでしょうで「ごみ戦争です」であったり、江東区の木は何でしょうということで、クロマツとまた違う選択肢であったり、あとCO<sub>2</sub>に係る温暖化に関する問題であったり、いろいろな様々な分野の環境に関するものを出ささせていただいて、大体、中学生レベルなんですけど、今回、小学生レベルの子でも、かなり受検いただいた子もいまして、そういった子も100%6割取っているとかもありましたので、テキスト等作ったのもかなりよかったのかなと思ってございます。

**47 石井委員** ありがとうございます。

**48 長谷川会長** ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、議題の(4)については了承といたします。

続きまして、議題の(5)事業者等のゼロカーボンに向けた取り組みについて、お二人の委員より順次説明をお願いいたします。

まず、深萱委員からお願いいたします。深萱委員、よろしくお願いいたします。

**49 深萱委員** 改めまして、東京電力パワーグリッド株式会社江東支社の深萱と申します。

東京電力グループの安心・安全なカーボンニュートラル社会への貢献の取り組みについて発表いたします。

前のほうに資料を投影していただいているんですけども、ちょっと小さくて見づらいということがございますので、印刷物も皆様のお手元にお配りいただいておりますので、御覧いただければと思います。

こちらの資料は、東京電力ホールディングス株式会社が9月26日に発表いたしましたTEPCO統合報告書2023の一部となります。お時間の関係上、ポイントのみ発表させていただきます。

安心・安全なカーボンニュートラル社会への貢献。カーボンニュートラルは、安心して快適な暮らしに、防災は、安全で持続可能な社会に必要な不可欠です。TEPCOグループは、供給、電力のゼロエミッション化、系統、大規模電源・大量送電と地産地消型電源の併存、社会、エネルギー需要の電化の3つの分野ごとのカーボンニュートラルロードマップを策定し、社会とともに持続可能な成長を実現してまいります。

具体的な目標として、2030年度までに、販売電力由来のCO<sub>2</sub>排出量を2013年度比で50%削減、2050年におけるエネルギー供給由来のCO<sub>2</sub>排出実質ゼロという目標を掲げ、ゼロエミッション電源の開発とエネルギー需要のさらなる電化推進の両輪で、グループの総力を挙げた取り組みを展開し、社会とともにカーボンニュートラルの実現をリードしてまいります。

カーボンニュートラルと防災を軸とした価値創造に向け、非化石電源である原子力等を活用し、水力や洋上風力等の再生可能エネルギーの開発に取り組むとともに、電気キロワットアワーの販売から、お客様設備サービス事業への事業転換を図ってまいります。

9スライド目をお願いいたします。供給における取り組み概要です。再生可能エネルギーの主力電源化。東京電力リニューアブルパワーは、国内事業の経験を生かして海外へ進出するとともに、洋上風力をはじめとした電源の多様化を通じ、事業領域とバリューチェーンの拡大を推進しています。水力発電や風力発電等の開発、計画から建設、O&Mを一貫して手がけ、水力、風力、太陽光合計で1,000万キロワットの国内最大の設備量を維持してきた経験、ノウハウを生かして、2030年度までに、国内外で600から700万キロワット程度の電源を新規開発し、再生可能エネルギーの主力電源化を推し進めます。

10スライド目をお願いいたします。JERAの気候変動に関する取り組みへの支援・監督。株式会社JERAは、TEPCOグループのカーボンニュートラル宣言の達成において、重要なサプライチェーンの1つです。JERAゼロエミッション2050で掲げる計画等を着実に実行し、JERAの継続的な企業価値向上を実現できるよう、当社グループは株主として適切に支援・監督してまいります。

11スライド目をお願いいたします。系統における取り組み概要です。系統利用の最適化。東京電力パワーグリッドでは、系統運用事業者として安定供給の使命を果たしながら、

再生可能エネルギーの早期連系、導入拡大及び出力抑制の回避を通じて、カーボンニュートラル社会の実現に貢献します。

12スライド目をお願いいたします。社会における取り組み概要です。カーボンニュートラルソリューション、電化促進、CO<sub>2</sub>ゼロメニュー拡大。東京電力エナジーパートナーは、お客様の幅広いニーズにお応えするパートナーとして、電気小売事業やエネルギー関連事業で培ったプロの視点で、お客さまのカーボンニュートラル実現を支援いたします。カーボンニュートラルソリューションのステップ。お客さまのカーボンニュートラル実現をより確かなものとするために、再生可能エネルギー電気の供給をはじめ、太陽光発電設備の設置やエネルギーデータの可視化、ビル・工場等への省エネ設備サービス等の多彩なサービスラインナップを取り揃えているほか、エネルギー利用実態や事業環境を踏まえたロードマップの策定支援から、設備維持・改良までをワンストップで実現します。

13スライド目をお願いいたします。カーボンニュートラルで災害に強いまちづくり。まちづくり事業は、地産地消型カーボンニュートラルソリューションと、レジリエンスで安心・安全なくらしの提供を担っています。TEPCOグループは、発電からお客さま設備、電気の利活用に至るまで、カーボンニュートラル領域における総合的な知見と技術を有しており、長年培った地域の皆さまとのリレーションをもとに、地域の特性やニーズにも精通しています。この強みを活かし、環境性と経済性を追求したトータルソリューションをお届けし、中長期的な地域全体の価値向上に貢献してまいります。脱炭素先行地域づくり事業におけるビジネスモデル。当社グループは、カーボンニュートラルを目指す自治体と協働し、開発構想段階から伴走支援を実施しています。自治体、地域企業、開発事業者、インフラ事業者等の多彩なステークホルダーとの共創、地域レベルでのカーボンニュートラル施策を推進し、多様な地域課題にお応えしてまいります。

15スライド目をお願いいたします。蓄電池です。蓄電池には、変動性の高い再生可能エネルギーの出力変動の緩和や出力抑制の回避、調整力や供給力の提供による系統安定化等の様々な役割が期待されており、カーボンニュートラル社会においては新たなエネルギー基盤として位置づけられています。TEPCOグループとして蓄電池ビジネスを機会と捉え、アライアンスを活用した実証、事業化の取り組みを進めています。

16スライド目をお願いいたします。EV関連事業です。日本全体のCO<sub>2</sub>排出量のうち、運輸部門からの排出量は約17%を占めており、モビリティ領域の電化は、カーボンニュートラルの達成に向けた大きな挑戦でありビジネス機会です。TEPCOグループは、株式会社e-Mobility Powerに54.7%出資し、全国の公共充電インフラネットワークの整備を通じて、EVの普及を後押ししています。現在、日本全国20,403口の充電器がe-Mobility Powerのネットワークに接続されています。引き続き、全国のカバレッジと十分なキャパシティを確保することでネットワークの拡充を図り、充電インフラに関する不安を払拭することで、さらなるEV普及に貢献するとともにビジネス機会を獲得してまいります。

参考までに、EV100加盟企業として、業務車両のEV化及び充電設備導入推進を進めており、私がおります東京電力パワーグリッド江東支社では、現在38台中23台、61%のEV化がされております。また、約50台分の駐車スペースが全て充電できるようになっており、今後もCO<sub>2</sub>削減に貢献してまいります。

以上で発表を終了いたします。御清聴ありがとうございました。

**50 長谷川会長** どうもありがとうございました。

今、深萱委員から説明がありましたけれども、本件につきまして御意見、御質問はございますでしょうか。

よろしいですか。

私のほうで1件だけ。ちょっと直接関係ないんですけども、東京電力さんって最終的に電源というのは何を重視するような形になっていくんですか。石油や何かは当然、減らしていくんでしょうけれども、原子力なんかの扱いはどうなるんでしょうか。

**51 深萱委員** 御存じのとおり、今、原子力のほうは稼働されておられませんので、今後、火力、風力、水力、太陽光を含めた再生可能エネルギー等をバランスよく供給していくことを目指しております。

**52 長谷川会長** いわゆる多様化を図って、自然エネルギーをもって安定供給できるようにしよう、こういう考え方でしょうね。

**53 深萱委員** はい、そうです。

**54 長谷川会長** 分かりました。

ほかに何かございませんでしょうか。

どうも深萱委員、ありがとうございました。

次に、堀委員からお願いいたします。なお、堀委員におかれましては、対面での会議については所用のため欠席となっております、この説明のみオンラインで参加されます。

では、堀委員、御説明をお願いいたします。

**55 堀委員** 三井住友カード株式会社経営企画部部長兼サステナビリティ推進室長の堀と申します。本日はそちらへお邪魔させていただきかけたのですが、外せない用事がありまして、誠に申し訳ございません。

本日は、貴重なお時間をいただきありがとうございます。表題のとおりでございます、弊社の環境への取り組み事例ということで、本日は、御紹介を幾つかさせていただきたいと思っております。

それでは、ページを1枚おめくりいただけますでしょうか。まずは、簡単に会社の紹介でございますけれども、弊社、三井住友カードは、SMB Cグループの中の1社でございます、この中でクレジットカード、デビットカード、その他、決済の業務を営んでいる会社でございます。三井住友カードは、いわゆる三井住友VISAカードとして、VISA Aカードを日本で広めたパイオニア的な存在ということでございまして、子会社に、SMB Cファイナンスサービスという会社を持っておりますけれども、来春、合併を予定して

おります。新たな会社の名前は三井住友カードということで、存続会社は三井住友カードの予定でございます。

それでは、1枚おめくりください。三井住友カードはキャッシュレスの取り組みをしております、主に2つの視点があります。1つは、事業者起点ということでございまして、今、映っているこの決済の端末は stera terminal といひまして、皆様の生活の周りでも最近お見かけいただくことが多くなつたのではないかとと思ひておりますが、こちらは、いわゆるクレジットカードからQRコード決済などを含めて、オールインワンで何でも決済できる端末ということで、こちら、GMOペイメントゲートウェイと米国のVISA社と共同して作り上げたものでございまして。こちらは、いわゆるキャッシュレスの環境整備をおこなうものであり、日本にキャッシュレスの裾野を拡大していくという取り組みでございまして。

もう一つの視点は消費者起点ということで、これは弊社の会員を増やして、非常に便利で、安全・安心に使っていただくサービスを一般の方々に普及していくといったような視点での業務でございまして、この両輪を進めているということでございまして。それによってキャッシュレス決済を利用しやすい環境、そういった社会の実現に向けて頑張っております。

次のページをおめくりください。ここからが具体的な弊社での取り組みを示させていただきます。まずは弊社、2021年の4月に、豊洲に本社を移転してまいりました。豊洲の駅の近辺にございましてけれども、こちらに23階建てのビルが建っております、そちらに入居しております。そのビルにおける取り組みということで御紹介させていただきます。加えて、三井住友カードの環境負荷データということで、スコープ1から3のCO<sub>2</sub>排出量の合計値を示しております。徐々にではございまして、その水準を下げてきているということはお分かりいただけると思ひます。また、弊社の中ではエコルールというものを定めてございまして、空調の設定もそうですし、エレベーターの利用に関するルール、コピー、プリンターなど、こういったことは社内でもルールを定めて運用しているといった状況でございまして。

続いて、次のページを御覧ください。これは弊社の中のクレジットカードの取り組みでございましてけれども、1つは、プラスチックカードを発行しないという、上のほうの段にございまして、カードレスカードという、デジタル時代の、いわゆる板カードのないクレジットカード機能をスマホに実装するといったようなサービスでございまして、実際にクレジットカードの板を1枚作りますと25グラムのCO<sub>2</sub>が排出されますが、これを作らないということによって、その分のCO<sub>2</sub>の排出を削減できるということでございまして。その下のほうにオーロラデザインのカードということで、弊社のナンバーレスカードといひて、クレジットカードの番号を表記しないカードというのを発行しておりますけれども、その新しいデザインとして、発行したカードでございまして。オーロラデザインのカードは、こちらの右の下のほうに書かせていただいておりますけれども、リサイクル素材を活用し

ておりまして、こちら環境に優しい素材を活用したクレジットカードということで、これもCO<sub>2</sub>の排出量削減に寄与したいという思いで作っております。

それでは、次のページを御覧ください。これは、ちょっと角度が変わりますけれども、弊社、法人向けカードもサービスとして提供しております、これは法人カード、企業の方が経費決済等で使うクレジットカードでございますが、交通費とか宿泊費、こうしたものでCO<sub>2</sub>の排出量を算定するという機能を備えた法人カードというサービスもおこなっております。ここ最近、コロナが明けてからは、出張も増えてきていると思っておりますけれども、例えば、飛行機などを使うと結構なCO<sub>2</sub>排出をしていることとなります。実際に企業の中で、いわゆるスコープ3の観点ですけれども、どれほどCO<sub>2</sub>を排出しているのかということデータを企業に還元していくということで、企業としてもそれが可視化されることによって、例えばCO<sub>2</sub>排出を削減するために、どんなふうに従業員の働き方を考えていこうかといったようなきっかけにさせていただくカードでございます。こちらは、実際に最近、特に大企業からのご要望の中では、このSDGs観点での角度でのサービスというものも含めて提案してほしいといったようなニーズも結構ございまして、こういったサービスも、最近ではスタートしております。

では、次のページを御覧ください。こちらは商品サービスということではないですが、弊社は、紙の明細書からウェブ明細への切替促進を行っております、実際に紙を出すことからウェブに切り替えますと、一部コストも浮くわけですが、それをそのまま弊社の利益にしてしまうということではなく、頂いていた費用の一部を森林の保全活動に充てております。一般社団法人 more trees を通じて全国5か所の自治体に寄附をすることで森林の保全活動をおこなっております。こうした持続可能性は、もともとの出自である住友の精神にもございまして、こういった活動にも弊社としては力を入れているところでございます。

では、次のページを御覧いただけますでしょうか。こちらは先ほど冒頭で御紹介しました、来春に合併予定のSMB Cファイナンスサービスの商品サービスでございます。こちらはEVオートローンということで、いわゆる電気自動車が、最近では欧州を中心に非常に普及しておりますけれども、この購入費用を分割でお支払いいただくローンになっております。こちらの特徴は、EVオートローンの御利用金額に応じて、その利用金額の一部、具体的には0.1%ですが、これを会社としてWWF ジャパンに寄附をさせていただくというような仕組みになっております。EVの普及支援とカーボンニュートラル推進も、環境問題に取り組むということで貢献していこうということでございます。こうした個人のいわゆるトランジションといったものを金融面から支えるといったことも我々としては取り組んでいきたいと思っております。

次のページをお願いします。最後に、これは御参考としてお示しさせていただいておりますが、そもそも我々が手がけるキャッシュレス決済、キャッシュレスの推進というのは、非常にそれそのものがCO<sub>2</sub>排出に寄与するということを示しているものでございまして、

皆様、御高承のとおり、現金というのは、例えば輸送であるとか、もちろん発行もそうですし、あとは、アクセスポイントをつくって、その現金の引き出しができるとか、そういった施設の普及が必要になりますが、キャッシュレスというのは、それが不要ないということで、私も昨年度は、経済産業省の要請で、キャッシュレスの将来像を考える検討会という委員会の委員になっておりましたが、この中でもキャッシュレスを新しい付加価値と考えていこうという中で、やはり環境に優しい取り組みなのだということや、こうしたものは非常に付加価値になっていくだろう、という話にもなっておりました。我々としては、このキャッシュレス決済は、こういったデジタルサービスとして環境負荷軽減につながるということで、より積極的に進めていきたいと思っております。

説明としては以上でございます。

**56 長谷川会長** どうもありがとうございました。

ただいまの堀委員の説明について御意見、御質問があったらよろしく願います。どうぞ。

**57 戸辺委員** 恐れ入ります。御説明どうもありがとうございました。クール・ネット東京の戸辺でございます。

**58 堀委員** お世話になっております。

**59 戸辺委員** お世話になります。

クール・ネット東京で、私、副センター長ではあるんですけども、モビリティに関する補助のほうを担当させていただいておまして、先ほどスコープ1、2、3のお話があって、スコープ3の部分で、あそこだけ、たしか数字が上がったように拝見したんですけども、これ、先ほど御説明がありましたが、やっぱりこれ、コロナ明けになって人が動くようになったからということなんでしょうか。

**60 堀委員** 今おっしゃられましたとおり、我々としても、コロナ明けのいろいろな出張がかさんだことが要因だと見ております。特にここ最近、全国のいろいろな事業者様からキャッシュレスの推進に関しては非常に引き合いも強く、例えば、公共交通機関でクレジットカードを使ったタッチ決済乗車というものができるようになりつつあるのですが、そういった部署は、全国の鉄道事業者さんから物凄い引き合いでして、ほとんどそういった部隊の人たちが出払っていたりとか、特に東京の部隊が大阪など各地方に出張する機会が非常に増え、その辺に要因があったと分析しております。

**61 戸辺委員** ありがとうございます。どうですか、オンラインでの会議、打合せというようなものもコロナ禍の間に非常に発展した部門かと思うんですけども、何かこれ、削減について御用意されているコンテンツのようなものがあったら教えていただきたいんですけども。

**62 堀委員** おっしゃるとおりで、基本的には、こういったエコルールとかを地道に進めていくほかないと思っておまして、一方で、我々としたら、例えば拠点の再編だとか、いろいろなところで合理化といったものも進めておりますので、あと業務効率化ですね、

そういったものでやはり減らしていくといった努力はしようと思っております。

**63 戸辺委員** 非常に勉強になりました。ありがとうございました。

**64 堀委員** とんでもないです。ありがとうございます。

**65 長谷川会長** よろしいでしょうか。他にもしありましたら、もう一問ぐらいどうぞ。よろしいですか。

それでは、堀委員、ありがとうございました。

**66 堀委員** ありがとうございます。

**67 長谷川会長** 以上をもちまして、本日の議題は全て終了いたしました。

事務局から連絡事項等がございましたらお願いいたします。

**68 西谷課長** 委員の皆様におかれましては、本日、各案件につきまして御審議いただき、誠にありがとうございます。また、深萱委員、堀委員におきましては、さらに取り組み事例の御紹介もいただきありがとうございます。

事務局からは次回の協議会についての御連絡でございます。第3回江東エコライフ協議会を、3月上旬頃の開催を予定しております。日程等が決まりましたら、改めてお知らせをお出しいたしますので、御出席のほどよろしく願いをいたします。

また、謝礼金を御辞退いただいている方以外の皆様には書類を机上に配付させていただいております。御提出に当たりましては、添付の返信用封筒を御利用いただければと思います。

事務局からの報告は以上でございます。

**69 長谷川会長** どうもありがとうございました。

委員の皆様、お疲れさまでした。これもちまして、本日の会議を閉会いたします。ありがとうございました。

— 了 —